



広報

ごしよがわら

発行所

五所川原市役所

506号

昭和56年11月1日

印刷 (株) 佐々木印刷工業

市の人口 男 25,746人
53,182人 女 27,436人

世帯数 14,631

(昭和56年10月1日現在) 住民基本台帳から



大町、魅力ある商店街へ

アーケード、装いも新たに

大町商店街振興組合（金川鉄男理事長、70店舗）が4月から約2億5千万円の費用で進めていたアーケードの架け替え工事が完成し、1日から装いも新たにお目見えしました。

大町商店街は、国鉄五所川原駅前から国道101号線までの約500mにあり、新しいアーケードは通りの両側延長830mに設けられたもの。高さは、従来

より30%高い3・3m、ひさし部分に流行のワインカラーを取り入れた。

歩道も幅3mに整備され、花の形をしたブロックが敷き詰められています。同商店街では、アーケードの完成を記念して15日まで特別セールを実施、魅力ある商店街づくりをめざしています。

(写真=10月19日、大町で)

苦楽をともに50年

「半世紀もの長い間、ご苦勞さま」。十月六日、市中央公民館に結婚五十年目を迎えた市内の五十五組の老

夫婦が出席して合同金婚式が行われました。「これからも手を取り合って長生きします」と、出

席したお年寄りたちは半世紀の道のりを懐かしそうに振り返っていました。

い人生を送ると共に、微力ながら社会に貢献していきたい」とお礼の言葉を述べました。



60組が合同金婚式

十年もの長い間、人生の労苦を共に味わい、助け合ってきた歴史は極めて貴重で市民の模範です」とあいさつ、各夫婦に顕彰状と記念品を手渡しました。

また、出席者を代表して松島町の前教育長小山吉之助さんが、「結婚五十年の歩み」と題して、これまでの結婚生活に対する所感を披露しました。

顕彰された金婚夫婦

- 石井福太郎・ハチヨ、沢田長吉郎・きみ、中川覚次郎・たけ、木村静男・きさ辻義一・さだ、工藤清・カツ、小山内貞雄・ツワ、柴谷多七郎・チヨ、小笠原正助・さず、斎藤謙蔵・スエ対馬淳美・ちよ、中村建次・とよ、長内常吉・ちゑ、成田笙二・きく、曾我健次郎・チヨ、成田長吉・ミエ小山吉之助・俊、対馬頼作・チヨ、渋谷喜三郎・むら藤森正一・ひで、木村久・かをる、蒔田豊三・よね、平山金次郎・こよ、白戸善

自衛官募集案内

自衛隊生徒

- 募集人員 陸約二百五十人、海約六十人、空約五十人
- 資格 中卒(見込み)十七歳未満者
- 受付期間 十一月一日～十二月十九日
- 試験期日 五十七年一月五日
- 合格発表 五十七年二月二十七日
- 入(校)隊 陸五十七年四月上旬、海・空五十七年三月下旬
- 待遇・その他 修学年限四年、卒業時三等陸・海・空曹
- 詳細・お問合わせ 自衛隊青森地方連絡部 五所川原募集事務所(☎☎三三〇五番)



駅東部の保留地を公売

積	面	符号	街区		
約 481.0m ²	約 216.8m ²	約 216.0m ²	約 353.3m ²	約 353.0cm ²	約 467.7m ²
1	2	3	4	5	6
3 4	5	5	2 4	2 4	8
6	9	1 6	8	1 6	1 5

市では、
駅東部第二
地区土地
画整理事業
区域内の保
留地を次の要領で公売しま
す。

□とき 十一月二十六日
(木)午後一時から
□ところ 産経会館五階

わら焼きは あなたの満足 みんなのめいわく

鶴ヶ岡小五年
小野 俊也

次・キン、工藤万四郎・タ
キ、高橋竹五郎・ソデ、高
橋平太郎・操、太田源助・
きた、神彦一・キヨミ、開
米貞次郎・ツセ、工藤義清
・きた
川浪義晴・きせ、山口竹
男・つか、太田藤雄・り江
藤森兼世・みき、成田清繁
・ち江、間山才次郎・イヨ
石岡多作・そめ、佐々木作
太郎・さくら、成田賢之助
・トシ、石岡亥一・スミエ
成田嘉市・スエ、楠美周四
郎・チヨ、楠美敬造・や系
堀内栄作・や系、阿部慶五
郎・ツナ、小林儀三郎・い
ま、小笠原松雄・ヒサ、岩
田柁吉・ミツ、坂本直二・
タミ、笠井三太郎・ふみ、
今嘉四郎・スエ、前田定四
郎・きせ、笠井栄・あ系、
笠井多一郎・みね、笠井鶴
作・みな、松沢吉太郎・あ
やめ、笠井武男・さよ、沢
田勝造・チヨ、宮崎勇治・
たけ (敬称略)

農業用免税軽油

交付申請を受け付け

□受付期日 十二月二十
二日(火)、二十三日(水)、
午前八時三十分から午後四
時まで

□受付場所 栄町一〇、
県合同庁舎内、五所川原県
税事務所

□申請用紙 当所ほか、
各農業協同組合、軽油販売
店にもあります。

なお、申請書の書き方は
当事務所で指導しておりま
す。各農協、軽油販売店で

も説明し、申請書を取りま
とめ、一括して県税事務所
に提出しています。

□お問い合わせ 提出書
類など、詳しくは五所川原
県税事務所・間税課(☎34
二一一番・内線二〇七・
二〇八番)へお問い合わせ
下さい。



心配、困りごとの相談は

市庁舎正面玄関から二階にのぼって左側に、市
民相談室を常時開設しています。

◇交通事故の問題◇人権に関する問題◇心配ご
との相談◇役所の仕事でわからないこと、改めて
ほしいこと、離婚や扶養に関する家庭問題などに
次の専門の方が相談に当たっております。

▽毎週水曜日 社会福祉協議会相談員 二人
▽毎週金曜日 人権擁護委員 一人
▽毎月第二・第四水曜日 県交通事故相談所員
一人(場所・市民文化会館別館)

なお、行政相談員(坂本甚作氏、成田栄一氏)
は、随時相談に応じています。
無料、秘密を守ります。

気軽に市民相談室へ

市税は納期内に完納を

市税完納強調期間設置
強調期間 十一月一日～十二月二十八日

市では昭和五十六年度市税完納強調期間を設け
市税の納期内完納の推進、滞納の速かな解消促進
に重点をおくとともに、納税意欲の高揚を図り取
納率の向上を期しております。

本年もまた強調期間を特別に設け、市税完納、
滞納整理を強力に推進いたしますので、市民各位
のご理解とご協力をお願いします。

滞納の早期解消を



市民総合文化祭のご案内

ご家族おそろいでどうぞ

月	日	時	間	会	場	行	事	団	体	名
11月	3日	10:00	~	15:00	市民文化会館	第21回	県下俳句大会	五所川原俳句会		
11月	1,2,3日	9:00	~	16:00	中央公民館	菊花	展示会	五所川原晚香会		
11月	1,2,3日	9:00	~	16:00	中央公民館	盆栽	展示会	五所川原盆栽会		
						書道	展示会	五所川原書道会		
						趣味の木彫り		和好会		
						華道	展示会	池坊華道会		
						華道	展示会	小原流華道会		
11月	2,3日	10:00	~	16:00	中央公民館	盤景	展示会	五所川原盤景会		
						婦人服	展示会	中央公民館裁断教室		
						老人クラブ	趣味作品	展示会	市老人クラブ連合会	
11月	3日	13:00	~	16:00	中央公民館(集合)	市内文化	碑めぐり	若山牧水歌碑、八木隆一郎詩碑、内海草坡句碑、蘭菊碑、和田山蘭、加藤東離歌碑、上原げんと音楽碑、シーハイル碑		
11月	3日	10:00	~	16:00	中央公民館	市民	茶会	茶道表千家、茶道遠州流、茶道裏千家、市互助会茶華道部、煎茶方円流		
11月	3日	10:00	~	11:00	中央公民館(大ホール)	箏曲(琴)	発表会	木の実会		
		11:05	~	11:50		民謡、手踊	発表会	五所川原民謡協会		
		12:20	~	13:20		箏曲(琴)	発表会	松葉会		
		13:25	~	14:25		詩吟、華道吟	発表会	五所川原吟詠会		
		14:30	~	15:30		バレエ	発表会	山田芳子バレエ教室		
11月	23日	10:00	~	15:00	五所川原温泉ホテル	第21回	県下短歌大会	五所川原短歌会		
12月	5日	14:00	~	16:30	市民文化会館	五所川原市民	合唱祭	五所川原合唱団他		

母子家庭の児童に医療費を助成

市では、十月一日から母子家庭などの経済的負担を軽減するため、児童が医者にかかった場合の医療費の一部(自己負担分)を助成することになりました。

▽対象者

市内在住で、各社会保険(国保も含む)に加入し、次のいずれかに該当する児童
①配偶者のない女子が扶

養する、義務教育終了前の児童。
②父母のない義務教育終了前の児童。

○児童福祉施設に入所している児童は除かれます。

▽受給の手続き
該当する人は、「受給資格証」の交付を受けて下さい。受給資格者は保険証と印鑑を添えて申請して下さい。

▽医療費の申請

児童が十月一日以降に同一の月にかかった医療費をまとめて請求して下さい。なお申請の際には、受給

世帯更生資金を融資

降ヒヨウ、台風被害に対処

さる六月の降ヒヨウ及び台風15号による被害を受け、世帯に対して貸し付けし、資格証、保険証、印鑑、支払ったことを証明する病院などの領収書が必要です。詳しくは、市福祉事務所(☎352211番・内線二四三番)へお問い合わせ下さい。

災害で被害を受けている世帯で、他から融資を受けることが困難な低所得世帯以内。(利息三%、返済七年以内)
□申込み期限 十二月二十八日まで
□申込み先 市社会福祉協議会
□お問合わせ なお、詳しくは、市社会福祉協議会(☎343494番)へお問い合わせ下さい。

資料”
○頒価 一部一千元
○お申込み 11月20日までに
○お申込み先 市総務課企画室(☎352211番、内線三二八・三一九番)
○刊行 昭和57年1月
県勢のあらましを知るには最適です!!
県民座右の書としておすすめます。

あなたの本棚に一冊

昭和56年度版
青森県の姿

県勢要覧

美麗な表紙、明快な解説、豊富な資料”

年金のはなし

その7④

(1) 通算老齢年金

会社勤めの人が退職して自分で商売を始めた場合のように、厚生年金にも国民年金にも加入したが、個々の加入期間が短くてどちらの制度からも老齢年金が受けられない場合があります。

このような場合は、両方の加入期間を合わせて一定年数以上になれば、両方の制度から通算老齢年金が支給されます。

◎受けられる要件

国民年金の保険料を納めた期間と、保険料の納

めた期間と、保険料の納付を免除された期間とを合わせて一年以上ある人が、次の①②③の期間を

拠出制の年金と受けられる要件

合算して二十五年以上ある場合に、六十五歳から支給されます。

この二十五年については、老齢年金と同様、短縮の措置があります。

①国民年金の保険料を納めた期間、保険料の納

付を免除された期間
②厚生年金保険などの他の公的年金制度に加入していた期間
③配偶者が厚生年金保険などに加入していたなどのため、国民年金に任意加入

④ 年金額

老齢年金の年金額の計算と同じ方法で計算された額です(十月一日発行の広報に掲載されています)

◎高齢者の優遇措置

十年年金グループと同じ年齢の明治二十九年四月二日から明治四十四年四月一日までの間に生まれた人の場合、次のとおり優遇されています。

計算の基礎となる単価
(通 常) 一千六百八十円
(優遇対象者) 二千五百二十円

誕生月には、現況届を

国民年金の老齢年金、通算老齢年金を受けている人から提出しているだけでなく現況届の提出時期が、去年の四月から変わっています。

これまでは、生まれ月に関係なく誰でも毎年二月十

五日までに提出していただきましたが、去年から本人の誕生月の月末までに提出していただくことになりました。

調べる大切な手続きです。この提出を怠ると、年金の支給を止められることがありますから、ご注意ください。

例えば一月生まれの人は、一月三十一日までに提出するわけです。

現況届は、国民年金を受けている人が引き続いて年金を受けられるかどうかを

善意銀行預託者

- 中村美香、白戸伸枝(二三年)
- 伊藤ヨネ(飯詰、古川敏夫(青年会議所理事
- 長、中三デパート(本町)、佐々木初海(更生保護婦人会長、辻義一(上平井町)、山形四郎(松島町)、竹谷清治(歌の友の会代表、山田功(大和山連合青年部、阿部初美(松島町)



墓地購入者を募集 (長者森平和公園)

市都市計画課では、長者森平和公園墓地への購入者を募集しています。

- 募集区画 百四十区画
- 墓地面積 一区画五平方メートル
- 永代使用料 十一万円
- 管理料 三千元(年間)
- 受付け 常時受け付けています。
- お申し込みと同時に、永代使用料と管理料を納付していただきます。
- お問い合わせ 詳しくは、市都市計画課(☎35)二二一番・内線(二三三番)へお問い合わせ下さい。
- 申込み方法 当日会場を受け付けます。
- 指導 小笠原健一(日本フォークダンス連盟四級公認指導者)他
- お問合わせ なお、講習曲など詳しくは、小笠原健一(☎34)八七七一番へお問い合わせ下さい。
- 主催 五所川原市フォークダンス協会

フォークダンス初心者講習会

- とき 十一月七日、十四日、二十一日、二十八日
- 十二月五日、午後六時から
- ところ 市中央公民館
- 対象 一般市民どなたでも参加できます。
- 内容 世界のフォークダンス十曲
- 用意するもの ズック靴、メモ用紙、ハンカチ
- 会費 五百円(テキスト代)

シンナー、ボンド遊びが急増

家庭では十分注意を

最近、中・高校生による薬物(シンナー、ボンド、ペンジン等)乱用が急増しており、学校、関係機関等でその対応に苦慮しております。

薬物の乱用は、ご承知のとおり、死につながる恐ろしい害があります。

①子供の部屋にシンナー等の臭いが残らないか

②食欲が減退していないか

か

③顔に脂気がなくなり、口の周りが白く荒れているか

④友達の入入りや電話が多くなっていないか

「他人の子も我が子」の気持ちで、公園、川の土手などで不審なグループを見かけましたら、必ず学校にご連絡下さい。

販売店へお願い
学校側では、薬物の乱用

乳幼児の健康診査

乳幼児の健康診査と健康相談を次の日程で行います。該当する赤ちゃんには受診させるようにして下さい。

- 受付時間 午後0時30分～1時まで
- 持参するもの 母子健康手帳、バスタオル

現在病氣治療中か他の医療機関で健康診査を受けている乳幼児はご遠慮下さい。

1歳6ヵ月児に限り歯科衛生指導も行います。

月	齢	対象	とき	ところ
3ヵ月	児	昭和56年7月生まれ乳児	11月10日	旧中央公民館
6ヵ月	児	昭和56年4月生まれ乳児	11月17日	
1歳6ヵ月	児	昭和55年5月生まれ乳児	11月24日	

市立図書館では、次の日程で名作読書会を開きます。どなたもお気軽にご参加下さい。

- とき 十一月十九日(木) 午前10時から
- ところ 市立図書館二階
- 講師 白戸良徳氏(五所川原市)
- テキスト 「よたかの星」 作・宮沢賢治

「名作読書会」を開催

多数のお出でをお待ちしております。

- とき 十一月六日(金)
- ところ 「丸友」デパート五階催事場
- 展示内容 生活と暮ら

「みんなの消費生活展」

しについてのコーナー、パネルが展示されるほか、牛乳などの無料試飲会などもあります。

- 主催 青森県、五所川原市

「北方領土」問題を考える

市民講座を開催

ご近所お誘い合わせのうえおいで下さい。

- とき 十一月十四日(土) 午後一時三十分から三時まで
- ところ 市中央公民館

館

□講師 境勇吉氏(五所川原第一高校校長、著書「北方領土」他随筆)

- 演題 「北方領土」問題を考える
- 受講料 無料です。

(五所川原市学校警察連絡協議会)

予防接種(三種混合) 時間一部変更

長橋、七和地区午後一時から二時までとありましたが、午後一時から一時三十分まで、また三好地区は午後一時三十分から二時までに変更になりましたのでお知らせします。

「福祉バス」を購入

市ではこのほど、九百六十四万円で購入した福祉バス一台(定員六五人)写真一を、福祉事務所(備えました)。



農業転職訓練生募る 職種は建築科(型枠)

□対象者 農業委員会が農業構造の改善に伴い、農業従事者以外の職業につこうとする農業従事者であると認め、証明書を交付された方で、

1. 農業従事者であること。
2. ほかに安定した職業についていないこと。
3. 農業構造の改善に伴い、農業従事者以外の職業につこうとしていること。

- 実施主体 青森県
- 実施期間 57年1月～3月末まで
- 募集人員 10人
- 募集開始 11月1日から
- 申込み先 五所川原公共職業安定所、または市・商工観光課

- 入校中の特典
 1. 授業料は無料
 2. 実習用器具及び教材は貸与

□中高年齢失業者には、次の手当が支給されます。

- ①基本手当 日額 2,250円(雇用保険受給者は、保険日額支給)
- ②受講手当 日額 550円
- ③通校手当 通校に要する経費(限度額17,250円)

□選考日 12月上旬の予定
 その他、詳細については五所川原公共職業安定所(☎243171番)または木造技術専門校(☎42424番)及び市・商工観光課(☎352111・内線 260番)へお問い合わせ下さい。

雇用保険の失業給付を受ける方へ

昭和五十六年十二月一日から昭和五十七年三月三十一日までの間に、職業安定所へ離職票を提出される方は、とくに次の点に留意して届け出をして下さい。

□求職申込み時に持参すべき書類

①離職票(離職票No.1、離職票No.2の二枚で一組です)②口座振込用紙(この用紙がないと保険金の振り込みがなされません)

③印鑑(口座用紙の印も、訂正等に使います)
 ④出稼台帳または求職票(出稼された方は、市町村役場の窓口から出稼台帳を、それ以外は安定所にある求職票が必要です)

□受付できない期間

年末・年始は、労働者(東京・石神井)のコンピュータが停止になりますので、十二月二十六日(土)から一月四日(月)までは

雇用保険業務が五所川原職業安定所で受け付けできません

三井生命が苗木千本
 行事の一環として贈る

三井生命保険会社では十月八日、市にネズミモチ、ハナズオウの苗木合わせて千本を寄贈し、青森支社の川口外務課長らが寺田市長

交通事故巡回相談所

十一月は次の日程で開設されますので、ご利用下さい

- とき 十一月十一日(水)、二十五日(水)
- ところ 市民文化会館 別館(旧中央公民館)
- 青森県交通事故相談所 五所川原市・市民相談室

□番組名 ごそんじで
 すか?(防災ミニ百科)

□放送局名 青森放送(RAB)

□放送日時 毎週木曜 日午前十時四十五分

□十一月の放送日程

△十一月五日「地震・家族との連絡方法」△十一月十二日「地震・警戒宣言・慌てずに」△

せん。今年、十二月二十九日までに、来年は、一月五日から雇用保険の業務を開始します。

(五所川原公共職業安定所)

□とき 十一月十一日(水)、二十五日(水)

□放送日時 毎週土曜 日午後零時五十五分～午後

十一月十九日「地震・家具を考える」△十一月二十六日「火災・旅先での注意」

□番組名 そのときあ

□放送局名 青森放送(RAB)

□放送日時 毎週土曜 日午後零時五十五分～午後

□十一月の放送日程

△十一月七日「地震の心得・避難するときは」△十一月十四日「地震・警戒宣言が発令されたら」△十一月二十一日「地震による津波に注意」△十一月二十八日「毎日が防火デーです・ぼくの家」

支店の利用者貯蓄の会・重陽会(稲葉忠司会長)は十月七日、市の福祉事業に役立てて下さいと五万円を寄付し、寺田市長に託しました。



福祉設に贈り続けているものです。

福祉事業に役立てて一と五万円寄付 県信用組合「重陽会」 青森県信用組合五所川原



広報紙の早期配布にご協力下さい